

Eat Well, Live Well.



味の素株式会社 事業説明会

# オープニングリマークス

取締役 代表執行役社長 最高経営責任者

藤江 太郎

2023年12月4日

**この説明会・説明資料は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づき登録を行うか、登録の免除規定に該当する場合を除いて、米国において証券の募集又は販売を行うことは許されません。**

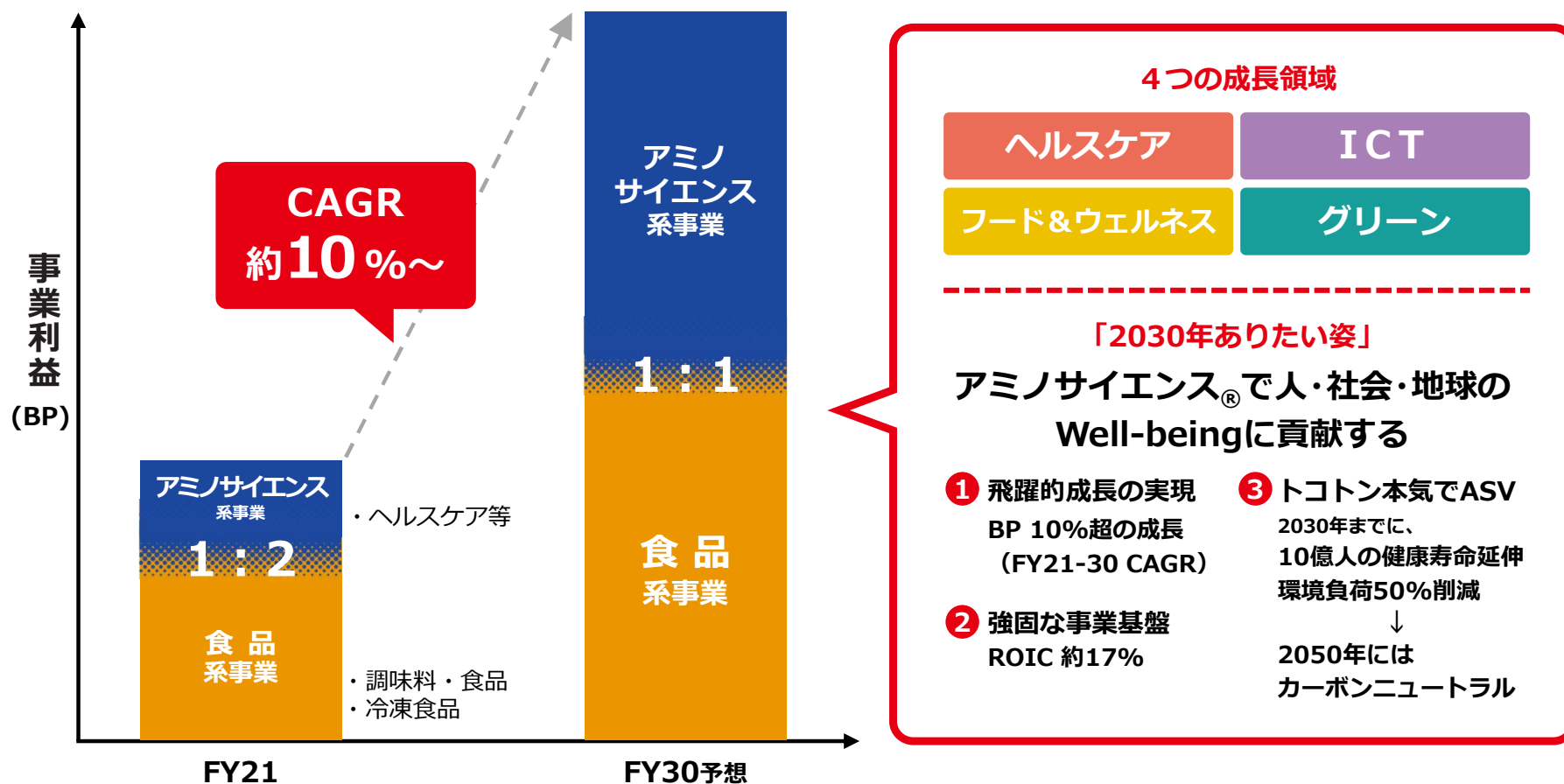
## 本日本日お伝えしたいこと

---

- ・ 中期ASV経営で設定した4領域の成長戦略の実現に向けて、戦略の立案・遂行をしています。
- ・ ヘルスケア領域では中長期での拡大を見据え、Forge社の買収を決定しました。  
Forge社買収に伴い、2024年度には償却費を含め2桁半ば億円を超える先行投資負担が生じると現時点で想定しています。
- ・ 6月にはICT領域とヘルスケア領域の事業説明会を実施しました。  
本日はFood&Wellness領域とグリーン領域の説明をさせていただきます。
  - Food&Wellness領域では、フォーキャスト型とバックキャスト型の取組みによりFY30までの事業利益の着実な伸長を図ります。
  - グリーン領域では、グリーンフード事業やアグリ事業を通じて“with Earth”な社会の実現をリードし、1,000億円規模への事業成長を目指します。

# 2030ロードマップにおける本買収の目的

アミノサイエンス®の強みを活かした4つの成長領域の1つ、ヘルスケア領域への積極的投資で、当社ならではのユニークな事業ポートフォリオの実現を加速



## Forge Biologics Holdings社の全持分取得(連結子会社化)

味の素グループは、米国の遺伝子治療薬CDMO Forge Biologics Holdingsの全持分を取得し、完全子会社化する合併契約を締結

持分取得額は約554百万ドル（約828億円）

<b>会社名</b>	Forge Biologics Holdings, LLC（以下Forge社）
<b>設立年</b>	2020年
<b>所在地</b>	米国 オハイオ州
<b>代表者の役職・氏名</b>	社長兼CEO Timothy J. Miller
<b>事業概要</b>	遺伝子治療薬CDMO 遺伝子治療薬の開発
<b>従業員数</b>	327名（2023年7月時点）
<b>売上高</b>	30百万米ドル（2022年12月期）
<b>EBITDA</b>	▲39百万米ドル（2022年12月期） 2025年度 EBITDA 黒字化を目標

# 買収後の経営体制

Forge社の現経営陣による経営体制を継続しつつ、当社からも経営人財を派遣し、早期のビジネス融合とシナジーの創出を狙う

## Forge社のトップマネジメント

社長兼CEO  
 テイモシー・ミラー  
 Timothy J. Miller,  
 Ph.D.



- 20年以上の事業開発、研究、製品開発、臨床オペレーション経験を有する
- 2020年にForge社を共同設立、社長兼CEOに就任
- Forge社設立以前は、希少疾患の遺伝子・細胞治療を手掛けるAbeona Therapeuticsを共同設立。2012年～2018年までCEO兼社長を務め、2015年に同社を上場させた経験を持つ

## 具体的な経営体制

当社からは、Forge社の新取締役となる経営幹部を含む人員を派遣し、早期のバリューアップを狙う

味の素ノースアメリカHD社やCDMO事業を手掛けるアルテア社との間で、人財の相互派遣も含めて連携

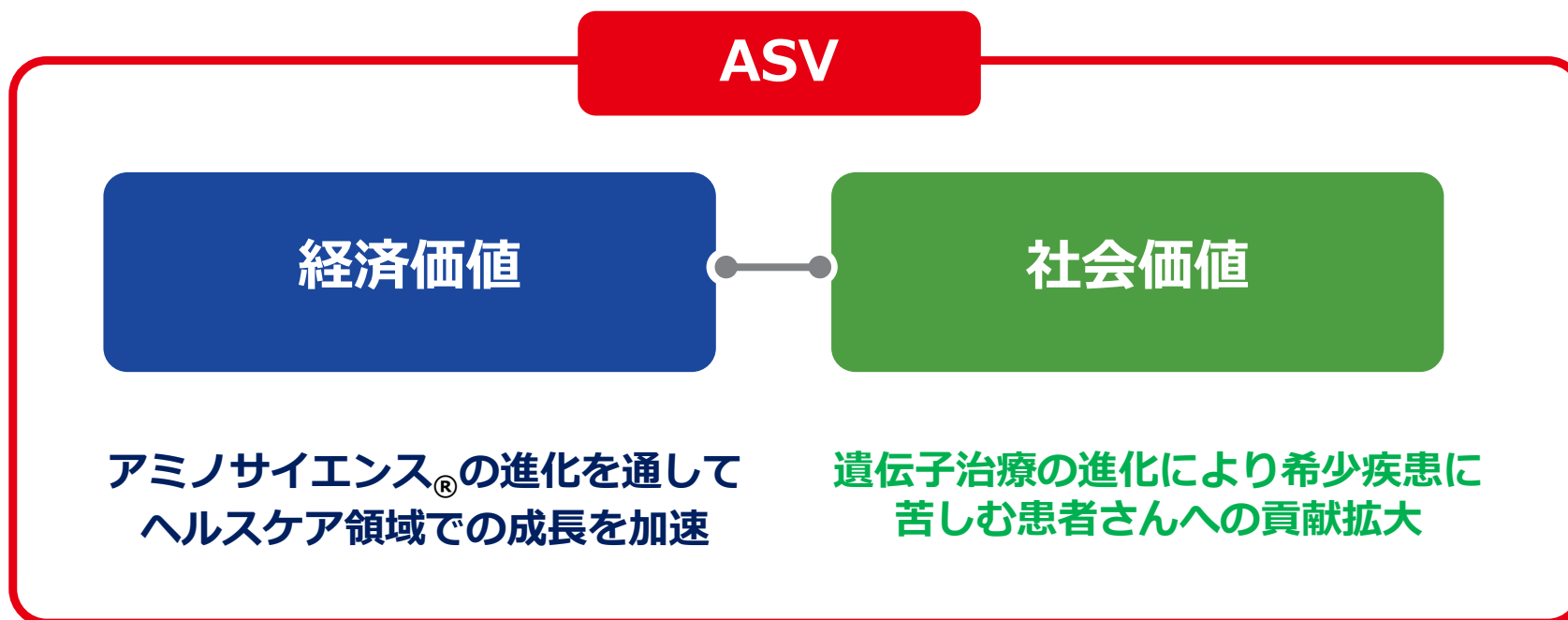
本買収後は、CEO以外の現経営陣も引き続き経営にコミットする予定

更に当社からは必要な人員を派遣し、ガバナンスの強化や必要な経営資源を投入し、成長をサポート

# 「志」・ASVへの貢献

遺伝子治療領域への参入による「志」の実現・ASVへの貢献

アミノサイエンス®で  
人・社会・地球のWell-beingに貢献する



# Eat Well, Live Well.



## AJINOMOTO®

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。
- アミノサイエンス®は味の素株式会社の登録商標です。